

くすの木

川崎市立川崎病院の基本理念

私たちは、地域の基幹病院として、他の医療機関と連携し、「病気」でなく「病人」を診る心を大切に、安全安心で質の高い医療を、患者さまとともに考え、実践し、健康と福祉の向上を通じて地域社会の発展に貢献することを目指します。



川崎市立川崎病院

✓ 平成30年度川崎病院災害医療対応訓練を実施しました！

川崎市を含む九都県市（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市）では、毎年9月1日の「防災の日」を中心とした「防災週間」に防災訓練を実施することとしています。

今年は、川崎市が九都県市合同防災訓練の幹事都市であることから、自衛隊や各自治体、周辺病院など多くの機関が参加することにあわせて、合同防災訓練の一部として川崎病院災害医療対応訓練を実施し、災害に対する備えの充実を図りました。

なお、9月に発生した北海道胆振東部地震には当院からも1名のDMAT隊員が派遣され、現地DMAT本部での活動支援に貢献しました。



自衛隊との共同訓練



トリアージエリアの様子

✓ インフルエンザ流行シーズン到来！ご注意を！

東京・横浜などではインフルエンザによる学級閉鎖が1ヶ月以上早く始まっています。

インフルエンザの予防対策

- ワクチン接種
- 手指衛生（手洗い）と含嗽（うがい）
- 咳エチケット：マスクの着用
- 体調管理（食事や睡眠等）

どれか1つだけではなく、これらの対策を合わせて行うことが推奨されています。



- ワクチンは、本格的流行前の10月下旬から12月上旬までには接種しましょう！



- マスクは、鼻と顎をしっかりと覆いましょう！



✓ がん患者サロン「秋のお楽しみ会」を開催しました！



平成30年9月26日、「秋のお楽しみ会」を開催しました。
日ごろのがん患者サロンは、患者さんやその家族など同じ立場の人が語り合う交流の場ですが、「秋のお楽しみ会」は、年に一度のイベントです。集まったみなさんで楽しい一時を過ごしました。

プログラム

- (1) 手品・腹話術など : そこつ家 酒楽 (佐々木正雄さん)
- (2) 落語 : 喜楽亭 笑吉 (依田耕一さん)
演目 「目黒のさんま」「鮑のし」
- (3) 木管5重奏 : 当院の医療スタッフなど
曲名 「童謡メドレー」「魔女の宅急便メドレー」
「山の音楽家じゅんばん協奏曲」



参加頂いた皆さんの声

- すごく楽しかった、来てよかった。
- 自分が「がん」ということを忘れていた時間でした。
- とてもいい企画（秋のお楽しみ会）ですね。
- 木管5重奏の演奏を聞いて、感動しました。
先生方が練習して披露してくれたのですね。

✓ 市立川崎病院第2回キッズセミナーを開催しました！



平成30年8月4日（土）、第2回キッズセミナーを開催しました。地域の子どもたちに、縫合や内視鏡の模擬体験等をしてもらいました。本事業は、医療に対する関心・理解を深めるとともに、医療現場の魅力を知ってもらい、ひいては、医療に対する興味を抱く機会を提供し、将来の医師等医療従事者への志望等につなげるための一環として開催しています。

事前に選出された小学5・6年生29人（男子16人、女子13人）が医療器具に触れたり、医師等50人以上の病院職員とお話をしたり、楽しく医療現場の魅力を知っていただきました。



参加頂いた皆さんの声

- 医療の現場を身近に感じることができて、子どものよい経験になった
- 普段は触ることができないような器具に触れることができた
- また来年もセミナーをやってほしい



✓ 第4回NICU卒業生の会を開催しました！

新生児集中治療室（NICU）を退院されたお子さまとご両親にとって、退院はゴールではなく、新しい生活のスタートとなります。お子さまとご家族が交流の場を持つことで、共に成長・発達を喜び、また、ご家族が抱えている悩みを語り合える機会となるよう企画しています。



今年度は平成30年10月6日（土）、当院7階講堂にて開催され、21家族62名の方の参加がありました。看護師・助産師・新生児科医師・臨床心理士・保育士と一緒に、ハロウィンの工作をしたり、おもちゃで遊んだりしました。また、手遊び歌やパネルシアターでは、子どもたちの楽しそうな声も聞かれ、笑顔がいっぱいでした。

お子さまの足型を使っておばけかぼちゃに！
ご家族がかわいく仕上げていただきました

新生児集中治療室（NICU）をご存知ですか？

早産児や、低出生体重児等を集中的に管理・治療する部門です。専任の医師が常に配置され、ケアの為に様々な専用機器のほかに、刺激に敏感な新生児の為に、部屋の明るさや騒音に関しても管理されています。

✓ 皮膚・排泄ケア認定看護師のご紹介

当院には、4名の皮膚・排泄ケア認定看護師が所属しています。排泄は、高齢になるにつれ、生活に支障を来たしやすくなります。排泄ケアは人の尊厳にかかわる問題を含んでいるため、患者さんの悩みや不安を共有しながら関わっております。

Q 皮膚・排泄ケア認定看護師って何をするの？

皮膚・排泄ケア認定看護師とは、床ずれ（褥瘡）や手術創などの「スキンケア」と人工肛門や人工膀胱の方に対する「ストーマケア」、また便や尿漏れの方への「排泄ケア」の3つの分野を専門とする看護師です。

具体的な活動として、褥瘡に対する予防や治療に必要な寝具の選択やスキンケアを検討する褥瘡対策チームで活動を実施しています。そのチームは皮膚科医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士と各部署のスタッフで構成されています。

ストーマを造設された患者さんに対しては、入院中から退院サポートできる体制を整え、少しでも手術前の生活に近づくよう支援をさせていただいています。そして、退院後は看護専門外来で生活スタイルに合わせた支援を実施しています。

私たちはチームで患者さんの思いに寄り添い、より良いケアを提供出来るように日々努力し、活動しています。これからも患者さんご家族がその人らしく生活できる環境を共に考えていきたいと思っております。



平成30年度

第5回市民公開講座のお知らせ

定員
120名
(当日先着)

開催日程

テーマ 『動脈硬化の予防』

申込
不要

第1部 心臓の動脈硬化について～虚血性心疾患～

講師 李 慧崇 医師（循環器内科担当部長）



第2部 予防のための食事について

講師 太田 博子 管理栄養士（食養科科長）

受講
無料

日程 12月17日（月） 14:00～15:30
会場 川崎市立川崎病院 7階講堂

循環器内科担当部長
李 慧崇 医師

看護助手の体験募集

定員

3名/各回
先着順

日程	平成30年 ①第1回 11月20日(火) ②第2回 12月18日(火) 平成31年 ③第3回 1月22日(火) ④第4回 2月19日(火)
時間	13:00～16:00（集合は13時に正面玄関になります）
内容	病院内見学、業務オリエンテーション、看護助手と交流会 看護助手・業務体験(搬送、体位変換、トイレ付添い等)
持ち物	靴下、動きやすい運動靴、髪の毛の長い方は髪ゴムまたはヘアピン
申込み先	川崎市立川崎病院 看護部管理室 柳井田（ヤナイダ）宛 TEL.044-233-5521